

# ACANTHUS NEWS

平成12年 **2000.12**  
月刊アカンサスニュース  
金沢大学広報紙 第52号



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

## ロシア科学アカデミー極東支部と 交流協定を締結

11月22日、本学事務局においてロシア科学アカデミー極東支部ジョージ・エリヤコフ総裁と林勇二郎学長が交流協定書に調印した。  
なお、バレンチン・セルギエンコ副総裁が同行した。



「協定書」に署名するエリヤコフ総裁と林学長。後方は、小川勇総務部国際交流課専門員(特別会議室で)

## 工学部80周年記念行事 多彩に挙行

工学部80周年記念行事は、11月1日から4日まで行われ、この間オープンキャンパス、資料展、フォーラム、特別講演会など多彩な行事が行われた。

なお、記念行事の一環として11月3日、工学部80周年記念式典・祝賀会が挙行され、約250人が出席した。

[3頁に関連記事]



工学部カレッジソングを斉唱する左から畑朋延工学部長、金子曾政元学長、佐藤秀紀工学部教授、林勇二郎学長、新宅救徳工学部80周年記念事業実行委員会委員長、清水靖男金沢工業会石川支部長

## 巻頭言にかえて

# 省庁再編 文部科学省



水上 修一  
(事務局長)

文部省は、平成13年1月6日から中央省庁の再編で、文部省と科学技術庁が統合して、「文部科学省」になる。

現代社会の構造が、少子高齢化、国際化、高度情報化など急激な変化が進む中で、これまでは有効に機能してきた戦後型行政システムも制度疲労をおこし、また、縦割行政や組織の肥大化などの弊害が叫ばれるようになってきた。

そこで、21世紀の新しい時代に見合った簡素で透明、効率的な政府の実現を目指して、これまでの行政システムを根本から問い直し、内外の変化に機動的に対応できる行政システムづくりが、平成11年4月に「国の行政組織の減量、効率化等に関する基本的計画」として閣議決定され、これらの計画を含む「中央省庁等改革の推進に関する方針」が中央省庁等改革推進本部において決定された。その後、中央省庁の再編をはじめとする様々な行政改革が進められている。

文部省と科学技術庁の統合は、学術行政と科学技術行政のそれぞれの利点を生かし、総合的な学術・科学

技術行政を推進することが可能となり科学研究面での大きな成果が期待される。

我が国が創造力と活力のある国家として発展し、国際的にも積極的な役割を果たしていくためには、①豊かな人間性の育成等を目指した教育改革の推進②学術及び科学技術行政の統合的、積極的かつ計画的な取組の強化と学術・科学技術研究の調和及び総合性の確保③文化行政の機能の充実、等に取り組むことが重要となっている。

これらを踏まえ、文部科学省は、「教育の振興及び生涯学習の推進を中核とした豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成、学術、スポーツ及び文化の振興並びに科学技術の総合的な振興を図るとともに、宗教に関する行政事務を適切に行うこと。」を任務としており、教育、学術・科学技術、文化・スポーツに関する事務を一体的に推進することになる。

平成13年1月からスタートする中央省庁再編統合は、現在文部省で調査検討中の、国立大学の設置形態の在り方等についての結論及び実施の時期に、加速がつくのではないかという気配を感じる、

本学としては、現在行われている大学改革を粛々と推進し、21世紀に求められる新しい体制を出来るだけ早く整えておく必要があるのではないだろうか。

[参考図は5頁に掲載]

## 目次

ロシア科学アカデミー極東支部と交流協定を締結……………	1	東海・北陸・近畿地区国立大学等国際交流担当職員研修…	8
工学部80周年記念行事多彩に挙……………	1	秋の叙勲で本学関係者2人が受章……………	9
省庁再編 文部科学省……………	2	文部省医学教育等関係業務功労者表彰……………	9
工学部80周年を祝い、更なる発展をめざす……………	3	長野勇工学部教授「北國文化賞」を受賞……………	9
三谷充氏に感謝状贈呈……………	3	津川洋三氏「地域文化功労者大臣表彰」受賞……………	9
アメリカ合衆国プリンストン大学長来学 東洋学部長が講演……………	4	南龍弘運転手、優良運転者表彰受賞……………	9
ノーベル賞受賞者利根川進博士 金沢大学で講演……………	4	皇居駅伝 本学女子チームが3位入賞……………	9
教養教育機構公開講演会……………	4	訃報……………	9
10回目の節目を迎えた「石川地域留学生交流推進会議」……………	5	利根川博士、角間キャンパスに……………	10
平成12年度教育研究発表会を開催（小・中学校）……………	5	寮祭前夜祭大いに盛り上がる……………	10
多様なニーズに対応するための「科目等履修生」……………	6	本学へのお客さま……………	10
金沢大学事務OB会開催……………	7	「金沢大学サテライト・プラザ」……………	11
「契約（調達）事務等に関する情報交換会」……………	7	第42次南極観測隊員の久保さん「しらせ」で出港……………	11
備えあれば憂いなし……………	7	キャンパス点描……………	11
理学部見学会「ふれてサイエンス」……………	8	「平成12年度永年勤続者表彰式」を挙……………	12
平成12年度生涯生活設計セミナー開催……………	8	編集後記……………	12



## 11月のビッグニュース

### 工学部80周年を祝い、 更なる発展をめざす

工学部80周年記念式典で、畑朋延工学部長が、大正9年の創立から80年にわたって発展してきた工学部と、現在果たさなければならない役割について式辞を述べた。続いてあいさつに立った林勇二郎学長（前工学部長）は、工学部が技術の発展と産業の振興に大きく寄与したこと、及びこれから21世紀に見合った科学とそのシステムを構築する必要があることを強調した。文部省高等教育局西阪昇専門教育課長から、工学部の発展に尽くした教職員・関係者及び機関に敬意を表するとともに、更なる充実と科学技術振興を担う創造性豊かな人材育成を期待する祝辞があった。

この後、記念祝賀会が行われ、80周年を祝うと同時に、全国から集まった卒業生が旧交を温め、さらなる発展を誓った。

〔1面に関連記事〕



左から石原金沢市教育長、松村石川高専校長、宮下富山大工学部長、林学長、畑工学部長、寺田石川鉄工機電協会副会長、玉置福井大工学部長



あいさつをする畑工学部長



行事を盛り上げる電気自動車



11月2日に実施されたフォーラム（工学部秀峯会館で）



### 三谷充氏に感謝状贈呈

三谷充氏（三谷産業株式会社取締役社長）から奨学寄附金として、医学部へ1,000万円、工学部へ500万円が寄附された。

これに対し、11月30日、林学長から三谷氏に感謝状が贈呈された。



左から林学長、三谷氏、馬淵医学部長、畑工学部長



感謝状を贈呈する林学長と三谷氏（左）

## 11月のニュース

### アメリカ合衆国プリンストン大学長来学 東洋学部長が講演

11月6日、アメリカ合衆国プリンストン大学シャピロ学長、  
コルカット東洋学部長が金沢大学を訪問し、林勇二郎学長、  
土屋純一文学部長と懇談し、今後の交流促進等について意見を  
交わした。

金沢大学文学部とプリンストン大学東洋学部は、本年4月  
に交流協定を締結した。協定書の調印は、プリンストン大学  
において行われたことから、今回は東洋学部コルカット学部長  
が金沢大学において講演を行うことになったもの。「『米欧  
回覧実記』の英訳とその意義」の演題で日本語により行われ、  
多数の学生、院生、教職員が聴講した。

〔関係写真は10頁に掲載〕



コルカット東洋学部長の講演

### ノーベル賞受賞者利根川進博士 金沢大学で講演

金沢神経科学会議（事務局：医学部脳神経  
外科学教室）では、11月26日、ノーベル生  
理学医学賞受賞者で、マサチューセッツ工科  
大の利根川進教授の特別講演を医学部十全  
講堂で行った。

会場は、教官、研究者、学生、市民等であ  
ふれかえるほどの聴衆で盛況であった。

演題は「メモリーメカニズム」。

〔10頁に関連記事〕



講演する  
利根川博士

### 「中国はどこへ行くのか」 教養教育機構公開講演会



教養教育運営委員会研究調査部による平成12年度第3回公  
開講演会が、11月2日、文・法・経済学部講義室で開催され  
た。講師は京都大学名誉教授の竹内実氏で、演題は「中国は  
どこへ行くのか」。竹内氏は、講演の中で中国三千年の歴史と、  
その半分以上にわたる日中交流の歴史を踏まえて、今後中国  
がどのように変わっていくのかなどについて論じた。

学生、教職員等約50人が熱心に聴講し、活発な意見交換が  
あった。

# 11月のニュース

## 10回目の節目を迎えた 「石川地域留学生交流推進会議」

11月13日、「第10回石川地域留学生交流推進会議」が開催され、石川県下国立大学等12高等教育機関を含む28機関から委員が出席した。

林勇二郎議長（本学学長）は、「県下の留学生が着実に増加しているのも推進会議構成員の皆さんの尽力のためのものであり感謝したい」とあいさつをした。



あいさつをする林学長と文部省学術国際局留学生課田頭吉一庶務係長（学長の左）、畑安次副学長（学長の右）

## 平成12年度 教育研究発表会を開催（小・中学校）

教育学部附属小学校では11月16日、17日に、また同中学校では24日に、それぞれ教育研究発表会が行われた。



加茂氏による講演

小学校は、「自己の学びを深める」をテーマに、県内外から2日間で延べ約900人の教師らが参加した。元サッカー全日本代表監督

加茂周氏による「戦略と戦術 - 今決断力が求められている -」の特別講演が行われた。

中学校は、「新学習指導要領完全実施にむけて」を主テーマに生徒の生きる力を育む学習



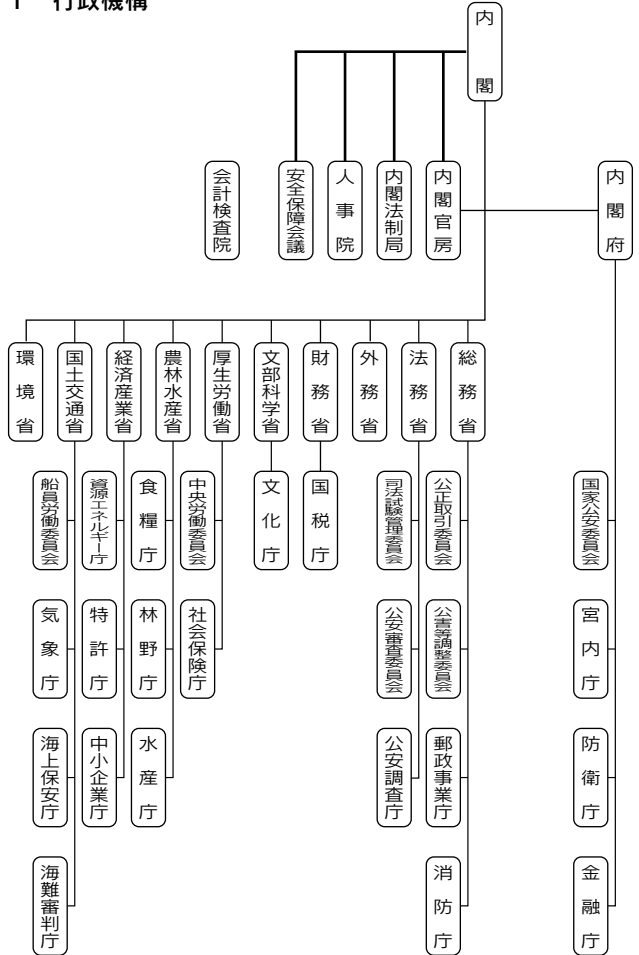
中学校の研究発表

の在り方の実践研究が発表され約200人が参加した。

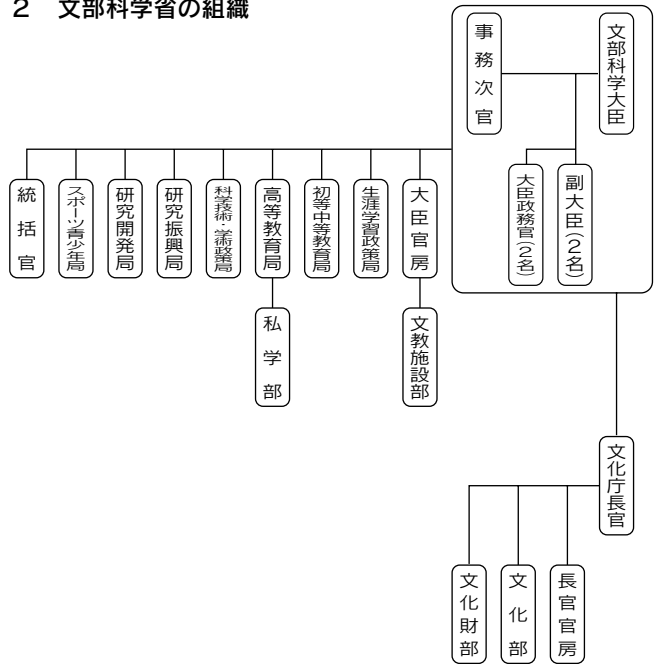
特別講演は、京都教育大学大隈紀和教授による「これからの学校教育と総合学習」。

## 省庁再編(平成13年1月)後のしくみ

### 1 行政機構



### 2 文部科学省の組織



〔2頁に関連記事〕



## 教育・いま

### 多様なニーズに対応するための 「科目等履修生」

高等教育の改善や質的水準の向上、生涯学習の推進をめざす種々の施策の1つに、科目等履修生の受入れがある。本学でも数年前から、独自のパンフレットを作成し、この受入れを進めている。

このことは、文部省の「平成12年度『我が国の文教施策』（教育白書）」にも、次のような内容で指摘されている。

「社会に開かれた高等教育」を進めるため、「多様なニーズへの対応」を行なうこととし、「今後、大学には、多様な世代の学習ニーズにこたえることのできる生涯学習機関としての機能を強化していくことが求められ」、「特定の授業科目やコースだけを履修して単位を修得できる科目等履修生の受入れ」を推進する。

ここで、本学の3年間の在籍者数を掲載（別表）し、科目等履修生に在学中の新谷浩美（しんや ひろみ）さんに感想を話してもらった。

#### －授業は楽しいです－

現在、週に3日受講しています。この後期の単位が修得できれば50単位になります。平成10年度前期から続けています。自営業ですが夫の理解と協力があるからだと感謝しています。

1科目でも受講でき、単位が修得できる「科目等履修生」というのは良い制度ですね。第一線で活躍されている先生の授業を聞けることからすれば、授業料は高くないと思います。もちろん安ければもっと助かりますが。

受講については、職員の対応というより制度のことになると思いますが、例えば、願書を提出する前に授業担当教官の承諾印が必要です。これを提出する3月と9月は学会などで先生と連絡がとれなくて困ったこともあります。また、実験・実習科目は受講できないなどの制限もあります。正規の学生が抽選する科目の受講もだめですね。

面白いという失礼ですが、非常にためになる授業、難しい内容を分かりやすく教えていただく授業は楽しいですね。

別表 科目等履修生在籍者数（人）

学部・研究科等名	平成10年度	平成11年度	平成12年度				
			前学期	後学期	計		
学部	文学部	19	15	6	8	14	
	教育学部	16	32	17	4	21	
	法学部	6	8	5	3	8	
	経済学部	0	7	3	7	10	
	理学部	2	1	1	1	2	
	医学部	医学科	—	—	—	—	—
		保健学科	16	8	2	1	3
	薬学部	1	2	1	1	2	
	工学部	4	2	2	1	3	
	教養的科目	8	13	3	1	4	
計	72	88	40	27	67		
研究科	文学研究科	17	10	4	4	8	
	教育学研究科	1	1	4	1	5	
	法学研究科	0	1	2	0	2	
	経済学研究科	0	0	0	0	0	
	医学系研究科	0	—	0	0	0	
	社会環境科学研究科	1	0	0	1	1	
	自然科学研究科	0	2	0	0	0	
計	19	14	10	6	16		
合計	91	102	50	33	83		



「平成10年から科目等履修生です」と話す新谷さん（総合教育棟で）

私も日本赤十字社の指導員として話したり教えたりすることもあるので、先生方の授業が大変に役に立っています。

角間キャンパスは広々していていいですね。私の周りの学生は熱心な人が多いです。この学生は先生方との相互関係がうまくいっているように思います。

## トピックス

## 金沢大学事務OB会開催

歴代の事務局長、部長、課長、事務長等で組織する事務OB会の第5回総会・親睦会が11月27日行われ、約80人が出席した。

はじめに、水上修一事務局長が、前回OB会開催以降の経緯と現況について報告した。

続いて親睦会が行なわれ、水上事務局長は大学をめぐる状況について述べ、林勇二郎学長から、金沢大学の課題と取り組みを含めたあいさつがあった。

旧交を温めると同時に、情報交換の場として有意義な会となった。



林学長と局長・部長



談笑

### 「契約(調達)事務等に関する情報交換会」 平成12年度に設置の13大学参加

11月7日、8日の両日、本学が呼びかけて初の「契約(調達)事務等に関する情報交換会」が開催され、平成12年度に契約室等が設置された大学から13大学が参加した。

本学の小林和久経理部長は、「国立大学が置かれている状況は、独立行政法人化に向け調査検討会議が設置されるなど非常に厳しく、それゆえ事務一元化がコスト意識、業務の大幅な効率化等に有効に機能しなければならず、この契約事務等に関する情報交換会の成果を期待したい」とあいさつ。

続いて、各大学から報告、問題点の指摘と意見交換が行われ、活発で有意義な情報交換会となった。



小林経理部長

### 備えあれば憂いなし

11月15日、事務局が角間キャンパスで総合訓練として初めて行う防災教育・訓練が、実施された。

広坂消防署の指導で、消火器による消火訓練、消火栓からの放水訓練、情報の収集・伝達訓練、地震体験車による体験を行い、いつ起こるともわからない災害に備えた。



本物の揺れを擬似体験



避難場所に集合

## 11月のニュース

### 理学部見学会「ふれてサイエンス」 入場者新記録

理学部では、11月3日、第8回理学部見学会「ふれてサイエンス」を、同学部を会場に開催した。

これは、角間キャンパス移転を機に、毎年11月初旬に開催しているもので全6学科が参加した。

天候に恵まれたこと、また、学生実行委員会や担当者の活動が功を奏し、入場者総数871人の新記録を樹立した。



多忙をきわめた受付

## 平成12年度生涯生活設計セミナー開催

### 平成12年度生涯生活設計セミナー



文部省錦戸健二生涯生活設計専門官

笹原北陸放送アナウンサー

11月7日、金沢大学が担当し、県内の文部省関係機関に所属する40歳以上の職員を対象に、平成12年度生涯生活設計セミナーが開催され、75人が参加した。

水上修一事務局長のあいさつに続いて、文部省大臣官房福利課の錦戸健二生涯生活設計専門官の「生涯生活設計について」の講話があった。その後、鈴木紀美子福井松原病院副院長の「ストレスと心の健康」、笹原忠義北陸放送アナウンサーの「報道現場から」等興味深い話があった。

これは、生涯生活設計に必要な基本的知識を修得し、今後の社会生活及び生活設計に役立てることを目的として開催されている。

### 東海・北陸・近畿地区国立大学等 国際交流担当職員研修

平成12年度東海・北陸・近畿地区国立大学等国際交流担当職員研修が、11月8日から3日間、文部省と金沢大学との共催により金沢大学で開催され、31機関から49人が参加した。

この研修は、平成7年から、東海・北陸・近畿地区の国立大学等の国際交流に係る業務を担当する職員を対象として行われている。



文部省高等教育局企画課池田輝司課長補佐の講義



## トピックス

### 秋の叙勲で本学関係者2人が受章

11月3日、平成12年度秋の叙勲受章者が発表され、本学関係者では、次の2人の方が栄えある勲章を受章した。



勲二等瑞宝章  
堀 尚一氏  
(名誉教授、元理学部長)



勲六等宝冠章  
濱 詰 範子氏  
(元医学部附属病院看護婦長)

### 文部省医学教育等関係業務功労者表彰

文部省から、11月28日、平成12年度の医学教育等関係業務功労者の表彰式が行われ、本学から松平信一技術専門職員(医学部)と野脇邦子文部技官(附属病院)が受賞した。



松平 信一 技術専門職員  
(医学部)



野脇 邦子 文部技官  
(附属病院)

### 長野勇工学部教授 「北國文化賞」を受賞

11月3日、工学部 長野勇教授が「第54回北國文化賞」を受賞した。



長野 勇 教授 (工学部)

### 津川洋三氏(保健管理センター学校医) 「地域文化功労者大臣表彰」受賞

平成12年度地域文化功労者文部大臣表彰に本学保健管理センター学校医津川洋三氏(写真)が選ばれ、11月8日、表彰式が行われた。医師を務めながら、昭和21年から半世紀以上にわたって歌に力を注いできたことが評価されたもの。



### 南龍弘運転手 優良運転者表彰受賞

11月8日、総務部総務課南龍弘運転手(写真)が、石川県警本部長から優良運転者表彰を受けた。



### 皇居 駅伝 本学女子チームが3位入賞

第8回全国国立学校等教職員駅伝大会が、11月11日、快晴のもと皇居周回コース(一周5km)で開催され、本学から13人が参加した。成績は女子チームが見事3位に入賞、また、男子チームも昨年の36位から25位に躍進した。



前列左から谷口眞生、岡本直子、布野直江、福村羊里子、前田由美  
後列左から山本正一、木下正一、井上務、中野兼一、山本隆裕、池端良伸。この他の参加者は、熊谷直美、山田外史の各選手

### 訃報

11月24日、本学で現職お一人がお亡くなりになりました。ここに御報告するとともに謹んで御冥福をお祈り申し上げます。



林頼徹事務官  
(事務局経理部契約室)

## 学長・副学長室

### 利根川博士，角間キャンパスに

11月26日，医学部十全講堂での講演を終えた利根川進博士が，角間キャンパスを訪れた。

附属図書館と資料館で暁烏文庫関係の資料を中心に見学し，その後，学長室で林学長，和田副学長，山嶋哲盛医学部助教授と懇談した。



左から山嶋医学部助教授，利根川博士，林学長，和田副学長

### 寮祭前夜祭大いに盛り上がる

11月12日から各寮で行われる寮祭を前に，11日，北溟寮，泉学寮（以上男子寮），白梅寮（女子寮）の3寮合同の寮祭前夜祭が実施され，林学長，畑副学長，田頭学生部厚生課長らが出席して盛り上がった。

前夜祭コンパの後，3寮で，手作りの神輿<sup>みこし</sup>を5台担ぎ市内の大通りを練り歩き，最後に北溟寮で神輿を燃やしてファイヤーストームが行われた。

学生寮入寮 北溟寮263人／泉学寮163人／白梅寮148人



## 本学へのお客さま



11月6日，米国プリンストン大学シャピロ学長夫妻とコルカット東洋学部長（特別会議室で）



11月6日，シュミット・ドイツレーゲンスブルク大学教授（学長室にて）



11月14日，中国・江蘇省人民対外友好協会 吳錫軍会長等（特別会議室にて）

ほかに，ジョアン・リビングストン駐名古屋米国領事館領事（広報担当），ハルビン医科大学医師，看護婦長が本学を訪れ学長等と歓談した。

# サテライト・プラザ

## 「金沢大学サテライト・プラザ」

第 月4日

### 「さてらいと寄席」

今回は、金沢市観光会館で金沢大学落語研究会による古典落語の口演が行われた。学生のボランティアによる口演は、今回が初めて。

着物姿で高座に上がった学生は、それぞれの演目を軽妙な語り口で次々と披露し、会場は笑いの渦につつまれた。この模様は、テレビでも放映された。

来場者：33人

熱演



(写真部学生撮影)

内田忠平大学教育開放センター教授の案内で見学に訪れた県外の方

第 月 日

講師 板垣英治  
(金沢大学名誉教授)

### 演題 「塩硝が作り上げた軍事大国『加賀藩』」

これまでの「文化的イメージ」とは異なり、塩硝生産に関する多くのデータを基に、大量の火薬を有した軍事大国としての「加賀藩の素顔」についてせまった。

来場者は多く、会場に入りきれなかった。

来場者：90人



講演する板垣名誉教授 (写真部学生撮影)

## 第42次南極観測隊員の久保さん「しらせ」で出港

越冬隊員として南極に派遣される技術支援センター技術専門職員の久保栄さんの壮行会が11月13日東京で行われ、翌14日観測船「しらせ」に乗って南極に向け出港した。



左から4人目が久保技術専門職員

## キャンパス点描

### 角間キャンパスの駐車場

同日、同時刻における角間キャンパスの2つの駐車場。満車（駐車線はみだし）と空車。この違いは？



写真部学生撮影



## 「平成12年度永年勤続者表彰式」を挙行

11月21日、大学会館で平成12年度永年勤続者表彰式が行われた。

今回は、林勇二郎学長から金沢大学永年勤続者82人の表彰状贈呈及び文部省永年勤続者2人の表彰状伝達が行われた。

これに対し、法学部の清田明夫教授は受賞者を代表して、「金沢大学の教育と研究の環境作りにそれぞれの持ち場で努力していきたい」と謝辞を述べた。

また、式典終了後、会場を移して祝賀会が催された。



表彰式後の記念撮影

### 編 集 後 記

夏に開催した第1回金沢大学運営諮問会議で、委員の山出保金沢市長が「アカンサスニュースのみで大学が見えると思わないでください」と発言された。「アカンサスニュース」が市長の頭の中にあることが分かった。

12月2日、路上で山出市長と出会った。「サテライトプラザがもっと市民に浸透すればよいですね」と最初におっしゃった。「金沢大学サテライトプラザ」の動きに関心を持っておられると感じた。広報を担当する者としてうれしい。

本紙は2000年最後の号で、次号は21世紀になってお届けすることになった。そしてこの正月から、省庁再編で文部省が文部科学省になる。世紀が移り、組織が変わ

る記念すべき時を迎える。

「アカンサスニュース」は8頁であったものが、本年7月の第48号から12頁になった。これは、各部局から積極的に情報を提供してくれるお陰であることは言うまでもない。それが、マメ粒のような写真になったり、翌月回しになるものもあって、心苦しい思いをしている。お許しを願いたい。

新しい年も、大学における広報の役割と在り方を勉強し、模索しながら努力したい思っている。引き続き御支援と御協力をお願いしたい。良いお年を迎えられますようお祈りします。

(総務部企画広報室長 寺井 嘉治)

平成12年12月15日発行  
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町  
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5022  
FAX 076-234-4015

- ◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS”(キューピーズ))  
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
- ◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = [general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp](mailto:general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp) でも受け付けています。